



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか 第231号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp 令和3年(2021年)1月8日(金曜日)

学校生活を 楽しもう!

*Be mindful of Corona's effects,
but don't give up your happy school life.*

毛筆「Eジャーナルしずおか 第231号」：書道専攻2年 小川 裕貴

「学校生活を楽しもう!」

「Be mindful of Corona's effects,
but don't give up your happy school life.」

：書道専攻2年 杉本 菜摘

今年度は、沼津西高校の書道専門学科の生徒に執筆していただきました!

沼津西高校芸術科(書道専攻)は、県内公立高校の中で書道を専攻できる唯一の学科です。漢字や仮名、篆刻などの多様な表現や書道理論を専門的に学んでいます。また、全国高等学校総合文化祭や数多くの公募展覧会で優秀な成績を収めており、卒業後は書の専門大学に進学し指導者を目指す生徒が数多くいます。書道パフォーマンスにも積極的に取り組んでいます。生徒たちの活動を、学校HPでぜひご覧ください。



HPはこちら



皆さまには気持ちも新たに新春をお迎えのことでしょう。

一昨年末より、世界各国で続く新型コロナウイルス感染症は、我が国においても各地で発生しておりますので、密閉・密集・密接の三密などに注意を向けつつ、日々をお過ごしく下さい。

新学習指導要領の全面実施が段階的に進んでいる中、幼児児童生徒や教職員の皆さまには健康に十分留意され、授業や部活動、社会活動に積極的に参加されることを期待しております。

延期された東京オリンピック・パラリンピックは、本年、開催される予定です。スポーツとともに文化の祭典でもありますので、大いに楽しんでください。

今年が皆さまにとって実り多い年になることを祈念しております。

静岡県教育委員会 教育長 木苗 直秀

実践NOTE

地域の特色を生かした教育課程編成 魅力ある学校づくりを目指して

湖西市立白須賀小学校 教諭 加藤 健太郎

PTAや地域の支えに感謝



筆者

新型コロナウイルス感染症の影響で、本年度の教育課程は変更に変更を重ねている状態が続いています。教務主任として年間計画を何度も白紙に戻し、作り直しています。「縮小」「延期」「中止」「未定」などといった文字をいろいろな場面で目にしました。見通しを持つことが難しい状況は、どの学校も同じではないでしょうか。

そんな中、PTA会長からは「PTAとして何かできることはないか」と何度も声を掛けていただきました。地域見守り隊の方からは、「登下校時の交通安全指導を再開していきたい」と連絡をいただきました。週末には、地域の方がボランティアで運動場の草刈りをしてくださっていました。本当に多くの方々の支援で学校が成り立っていることを改めて実感しました。



登校時の見守り

地域のよさを発見 ふれあい探検

全校児童が縦割り班に分かれて地域を探検します。地域の方が講師を務め、座禅、蜂蜜採取、和太鼓、スナックゴルフ、ネイチャークラフト、野菜の収穫など、多岐にわたった体験活動を行っています。



座禅体験をする児童

地域には年齢や性別、仕事や趣味等の違いがあるさまざまな立場の人々が暮らしています。こうした地域人材と連携していくことで、児童は地域の産業、人、自然などに触れ、地域を知り、地域のよさを実感することができま

幼小中連携 積極的な 教職員の交流

学区内には公立幼稚園が1園、小中学校が1校ずつあります。職員間のつながりが強く、児童生徒の情報交換を中心に年間5回程度の職員研修を実施しています。

また、小中学校が隣接していることを生かしてさまざまな交流を行っています。教務主任として時間割を作成する際には、特定の教科において小学校の教員が中学校の授業を担当したり、中学

校の教員が小学校の授業を担当したりできるようにしています。



中学校教員による外国語授業

近年、小学校高学年の教科担任制についての議論がなされています。本校では教科内容の専門性の向上を考慮し、高学年の外国語の授業は中学校の英語教員が担当しています。意識調査によると、児童の7割以上が外国語の授業に興味を持っていました。児童は、「中学校の先生が発音や決まりなどを分かりやすく教えてくれた」「中学校の英語の授業も楽しみ」と感じています。今後もこの強みを生かした教育課程を編成していきたいと思

学校・家庭・地域社会が 手を取り合って

近年、社会の発展と共にもの豊かさが増し、価値観や生活様式も多様化してきています。学校・家庭・地域社会それぞれのもの見方や考え方は、子供たちの人間形成にも大きな影響を与えます。さまざまな人と出会うこと、多様な価値観に触れることで、他者を尊重する態度や共に生きていく姿勢が身に付いていきます。今後も学校・家庭・地域社会それぞれの役割を發揮しつつ、お互いに連携・協働した取り組みを模索していきたいと思

実践NOTE

わくわくいきいき みなみっこ

磐田市立豊田南こども園 副主任教諭 柳瀬 篤子

「友達と夢中になって遊ぶ子」

我が園の教育目標です。協同的な遊びや園児がやりたいと自ら環境に関わり、じっくり遊び込む姿を目指し、「自ら取り組み子」を主体性を大切に「保育者」を研修テーマに掲げて取り組んでいます。

ダンゴムシ最強説

4月、初めての集団生活で家族と離れる不安から、泣き出してしまふ3歳児が多くいます。そんなときは、園庭に散歩です。「あ、ダンゴムシ見つけた」と保育者の声に、「どこ？」「あつ、いたいた」と夢中になってダンゴムシを追います。

丸まったダンゴムシがゆっくりと手をひらで動く感触などに夢中になっています。もう涙は消えています。そして、「もっと探そうよ」と安心して過ごし始めるのです。



3歳 ダンゴムシ見つけた

このような姿が毎年繰り返され、「たかがダンゴムシ、されどダンゴムシ」子供の好奇心をくすぐり、心を安らげる力に偉大さを感じるのです。

透き通る色水

花壇の草花が咲き乱れる頃、園庭で色水遊びが盛んになります。



4歳 今日の色水は何色?

「見て。ぶどうジュースみたいにできたよ」とできた色水をベットのボトルに入れて見せるAちゃん。その様子を年下のYちゃんがそばで見っていました。真似をして、色水を作ったのですが、「これじゃない」とYちゃんは訴えます。

保育者がその様子を見て気付きました。Aちゃんの色水はザルで濾してあり、Yちゃんのは、花かすが残っているのです。助け船を出すことは簡単ですが、友達との姿からの気付き、色水用具に自ら関わり、やってみる姿を期待して見守りました。

何度もAちゃんの様子を見るYちゃん。ベットボトルより小さい容器に移してみたり、ボールに色水を入れて花かすを手で取り除いてみたり取り組んでいました。

しばらくすると「これ使う？」とAちゃんがザルを差し出しました。周りの友達の手元を真似してザルで色水を濾し、ベットボトルに色水を移し、太陽の光に透

かして眺めるYちゃんに笑顔が広がりました。この小さな成功体験の積み重ねが、遊びの継続の原動力となっていると実感します。



5歳 宝の地図作り

「学びに向かう力」に

コロナ禍で保育の在り方を悩む日々ですが、今後も園児のペースに合わせた時間の確保と、やってみようという気持ちを刺激する環境を整え、目を輝かせて遊ぶ保育に努めていきたいです。

そして、年齢に合った遊びの積み重ねを大切に、見守ってくれた大人がいる安心感の中で、試行錯誤し、友達とやり遂げる力を育て、就学時の「学びに向かう力」につながることを期待しています。



筆者 園児と春の花壇作り

「ふじっぴー給食」を実施します!!

いつやるの?

令和3年2月22日(月)

※2月23日のふじさんの日が祝日のため、前日に実施します。
※2月22日実施が難しい場合は、1~3月のいずれか1日に実施します。

どんな給食なの?

〈モデル献立〉

- 今年度のテーマ食材「鯖」を使用した献立です。
- モデル献立を参考に、県内産の食品を45%以上使用した献立です。

- 牛乳
- 緑茶まぜご飯
- 鯖のねぎソース
- がけ
- おかかあえ
- 豚汁
- みかん



どの学校でやるの?

県内の小中学校、特別支援学校 合計約500校、約17万食の予定
※調理場等の都合で実施できないところがあります。
※実施する場合は家庭に配布する献立表でお知らせします。

こちらも見てください

ふじっぴー給食について

【健康体育課】HP
<http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-120/kyusyoku/documents/fujippi.html>
静岡県 ふじっぴー給食 検索



ふじっぴー給食のお知らせ動画

ふじっぴー給食について



ふじっぴー給食を食べてみた



お正月の食べ過ぎ、飲み過ぎで、胃が弱っていませんか？弱った胃にお勧めの食材は、消化を良くする働きのある生姜や大根です。また、体を温める働きのある生姜やネギ、ニンニクも寒い冬にはお勧めです。

令和3年4月

2校

～特別支援学校が開校します～

学校施設の狭あい化解消や児童生徒の通学負担の軽減を目的に、新たに2校の特別支援学校が開校します。

浜松みをつくし 特別支援学校



▲校舎の完成イメージ図

概要

場 所 浜松市北区細江町広岡1
旧気質高校跡地(校舎一部改修)
設置学部 小学部、中学部、高等部
対 象 知的障害
アクセス 天竜浜名湖鉄道 岡地駅徒歩2分

教育目標

「共に学び 共に育ち 共に夢をつかむ」

船の航路を示す「みをつくし」のように、学校が地域に根付き、子供たちが自ら目標(夢)に向かって進み、地域とつながり、地域の夢もかなえられる学校を目指します。

校章

～浜松工業高校デザイン科2年 太田あかりさんの作品～

校名の由来となった「みをつくし」をモチーフに、
2枚の葉は…子どもたちが育っていく「芽」
左右のリボンは…教育目標の「共に夢をつかむ」
ひし形は…「みをつくし」の「ミ」
※「みをつくし」は航路を示す指標で旧細江町のシンボル

伊豆の国 特別支援学校



▲建設中の校舎 北側にきれいな富士山が見えます

概要

場 所 伊豆の国市寺家235
旧東部特別支援学校跡地(新築)
設置学部 小学部、中学部、高等部
対 象 知的障害
アクセス 伊豆箱根鉄道 韮山駅徒歩8分

教育目標

「良さが輝き、未来をひらく」

一人一人が確かな学びを積み重ね、仲間や地域とつながりながら自分の良さを生きる力へと輝かせ、夢や希望をもち自ら未来をひらく人を目指します。

校章

～沼津西高校芸術科2年 大村菜さんの作品～

伊豆の国市の木「榎(なぎ)」の葉をモチーフに、
2枚のなぎの葉は…教育目標の「ひらく」
円は…人や地域とのつながり
円と中心のIZは…伊豆の国
3つの点は…3つの学部と一人一人の成長

【特別支援教育課】

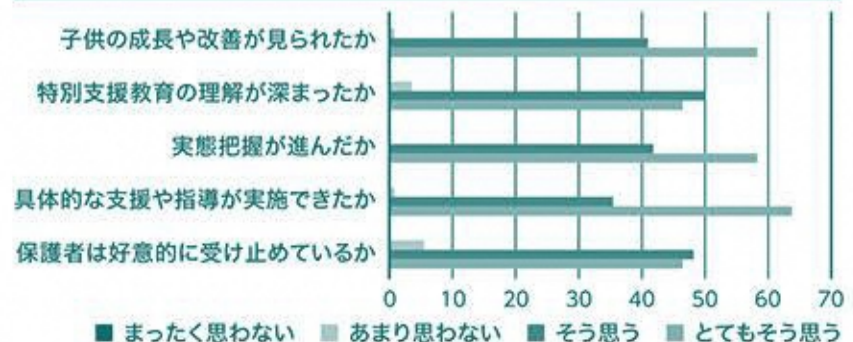
○特別支援教育充実事業による人的支援

義務教育課では、小中学校の通常学級において、学習障害(LD)や注意欠陥多動性障害(ADHD)などの傾向が見られる子供の学習を計画的にサポートするために、平成18年度から支援員を配置しています。静岡・静岡西教育事務所管内の市町に対し、実態調査をもとに、地域のバランスを考慮しながら支援員を配置しています。

また、本年度は、平成25年度からの多人数(7、8人)の自閉症・情緒障害学級に加え、多人数(8人)の知的障害学級にも、子供の学習を計画的にサポートする支援員を配置しています。

通常学級配置校へのアンケート(令和2年10月実施)からは、実態把握が進み、個に応じたきめ細やかな支援や指導が行われ、子供の成長につながっているということがわかります。また、支援や指導の例としては、「苦手な活動が事前に分かっているときは、目的を分かりやすく説明したり、別の方法を紹介したりしている」「身の回りの片付けが苦手で、授業に集中できない児童には、活動前に整理整頓のやり方や大切さを伝え、一緒に片付けをしている」などが報告されました。

令和2年度 配置校へのアンケート(通常学級配置)



【義務教育課】

総合教育センター
みずがらAngle静岡県総合
教育センター

令和2年度 研究報告会を開催します

総合教育センターは、学校・教職員への還元を目的に研究を行っています。新学習指導要領の円滑な実施を支える「主体的・対話的で深い学び」実現のための授業改善とカリキュラムマネジメントの研究などの最新の研究成果(中間報告)から、課題解決のヒントを持ち帰ってください。

日時 令和3年2月17日(水)午後1時00分～4時00分

場所 静岡県総合教育センター
(掛川市富部456番地)

静岡県総合教育センター

お申込み ・「申込書」を本センターHPからダウンロードし、各所属で参加者を取りまとめの上、電子メールで提出してください。
・本報告会は分科会方式での開催です。お申込み時に、4つの分科会から希望する2つをお選びください。

お問合せ 総合教育センター生涯学習企画課企画班
TEL 0537-24-9706

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、開催方法等を変更する場合があります。



【静岡県総合教育センター】

静岡県教育委員会表彰式を開催しました!

静岡県教育委員会では、教育の振興に貢献した方や、スポーツ、学問等の各分野で全国規模の大会などに出席し、優勝又は最高位を受賞した個人・団体の功績をたたえるため、「静岡県教育委員会表彰」を実施しています。

今年度は、個人・団体を合わせて16組が受賞し、11月18日(水)に県庁で表彰式を開催しました。

受賞者を代表して挨拶した、御殿場西高校の堀場さんは、監督やコーチ、保護者に感謝を示すとともに、恩返しができた喜びを語られました。

◇教育の振興に貢献された方々を表彰◇

県内には、さまざまな交流活動や支援を実施し、子供たちを育む教育の振興に貢献している個人や団体の方々がいらっしゃいます。

今回は、長年にわたり地域住民と児童の交流の場を作る活動を続けた団体、家庭教育支援やPTA活動の充実に資する啓発活動に継続して取り組んだ団体を表彰しました。

◇他の模範となる善行をした方を表彰◇

今年度は水遊び中の事故において人命救助した児童を表彰しました。

◇コロナ渦でも児童生徒が大活躍◇

新型コロナウイルス感染症拡大により、さまざまな大会等の中止や延期が相次ぐ中でも、多くの子供たちが輝かしい成績を取っています。

今年度も全国高等学校サッカー選手権大会などのスポーツ分野のほか、東京2020高校生英語スピーチコンテストや農業クラブ全国大会を始めとした文化・学問分野で、最も優秀な成績を取った児童生徒を表彰しました。

今年度表彰された皆さまを教育総務課のホームページで紹介しております。ぜひご覧ください!

HP <http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-010/iinkai-hyoushou.html>



▲第5回全国中学生クロスカントリー選手権大会で優勝した細谷さん



▲JFA第25回全日本U-15フットサル選手権大会で優勝したSHIZUNANフットボールクラブさん



▲第63回JA共済全国小・中学生書道コンクールで農林水産大臣賞を受賞した植田さん



HPはこちら

【教育総務課】



令和2年度 県民の日「こども県議会」

WEB

～ 中学生からの意見動画 ～

毎年、8月21日の「県民の日」に開催しているこども県議会では、各市町から選出されたこども議員が県議か本会議場に集まり、知事などと本県の未来や夢について意見交換をします。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県議会本会議場での開催を中止し、こども議員から動画で意見を寄せていただきました。知事などの答弁も動画で行い、特設ホームページにて、意見動画と答弁動画を公開しています。

静岡県教育委員会では、9人のこども議員に対し、答弁をしています。

地域を代表したこども議員が語る静岡県の未来や夢を、ぜひお聴きください!

〈こども県議会Web〉

HP <https://shizuoka-kodomokengikai.com/>



HPはこちら



【教育政策課】

静岡新聞社が発行する「Futureしずおか」ガイドブックが完成し、11月12日、県教育委員会に寄贈されました。

「Futureしずおか」は、高校生に地域企業で働く、地域で暮らす魅力を発信するプロジェクトで、静岡県教育委員会の協力を得て2012年から実施しています。

企業の業務内容や、活躍する若手社員のメッセージのほか、静岡県の誇れるデータや、進学・就職活動へのアドバイス、面接の留意点など盛りだくさん!

県内の各高校を通じて、2年生全員に配られます。



◀「Futureしずおか」ガイドブック寄贈の様子



〈FutureしずおかWeb〉

HP <http://www.at-s.com/future/about/index.html>

【教育政策課】

令和3年度「グランシップ子どもアート体験!学校プログラム」

広告

応募受付中!

グランシップでは、国内外の第一線で活躍する芸術家とともに県内の小中学校や特別支援学校に出向き、子どもたちに本物の文化芸術をお届けするアウトリーチ事業を実施しています。現在、令和3年度の実施希望校を募集しています。音楽や伝統芸能、文芸など多彩なプログラムをご用意。詳しい募集要項や応募用紙は、全小中学校、特別支援学校に郵送しています。また、グランシップホームページ(右記QRコード参照)からもご覧いただけます。

まもなく締切、是非ご検討ください!

応募締切:2021年1月31日(日)



【募集プログラム】●グランシップアウトリーチ登録アーティストミニコンサート●「人形浄瑠璃 文楽」出前講座 ●狂言ワークショップ ●六代目宝井馬琴監修 講談教室 ●玉川奈々福の浪曲教室 ●連詩をつくらう!ワークショップ

お問い合わせ (公財)静岡県文化財団・グランシップ 企画制作グループ 担当:渡邊 TEL.054-203-5714 MAIL.info@granship.or.jp